保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人花園福祉会
施設名	花園こども園
報告者（役職）	髙木恵一郎（園長）
住所・連絡先	埼玉県深谷市小前田１９９４番地
	☎　048-584-3212 E-mail　hanazono@s3.dion.ne.jp

○タイトル（保育計画）

おもうぞんぶん　すなばで　あそぼう！ 体に合う椅子で姿勢よく！

○主な助成備品

パーゴラ、三歳児用椅子

１．保育計画策定の目的

【パーゴラ】

本園の保育には「丈夫な体を作る」「豊かな心を育てる」「友達と仲よく遊ぶ」という３つの柱があるのですが、砂場遊びには、これらをはぐくむ要素がとても多く含まれています。砂を触ったりその上を歩いたりすることで様々な感覚を刺激し、自分で考えたものを思い通りに作ろうとすることで創造力をはぐくみ、手先の繊細な使い方をおぼえ、成長につれて仲間と協力し合うことを学び、大きなプロジェクトに挑んでいったりします。こんな素敵な遊び場である砂場が本園には大小二か所あるのですが、大きい方には日除けがなく、真夏はもちろんそれ以外でも日差しの強いときには長い時間遊ぶことができずに残念な思いをしておりました。そこで砂場に日除けをつくりたいと思い計画を立てました。

【三歳児用椅子】

三歳児が保育室で使う椅子については、三歳児用の椅子が十分になかったため二歳児用のものを使用していました。三歳児用と比べると座面が少し低く、三歳児が座ると少し不自然な姿勢になってしまいます。悪い姿勢を続けると心と体の健康や成長に悪影響があると言われますが、子供たちはなかなか自分でよい姿勢を保とうとは思いませんし、そうしようと思っても筋力等も十分ではなく維持するのは難しいことです。自然に良い姿勢が保てるよう、そしてそれにより食事や遊びに集中し快適に生活ができるようにしたいと考えておりました。使用していた椅子が傷み始めていたこともあり、この機会に三歳児用の椅子に切り替えることにしました。

２．具体的な実施内容

【パーゴラ】

新年度が始まり、ゴールデンウィークが近くなると日差しは次第に強くなってきます。いよいよ日除けの出番がやってまいりました。大きな日除けですが設置は比較的簡単にできるものなので、我々職員で設置しました。

職員が作っている大きなものに子供たちは興味津々です。園庭には手作りの大型遊具等があり、それを子供たちと一緒に作ることもあります。それも子供たちの良い経験になるという思いからですが、そのため子供たちはためらいなく近づいてきます。そして、職員もそれを止めたりはしません。完成すると早速日陰で遊び始めました。

砂場遊びを始めるとみんな夢中になります。写真ではわかりにくいかもしれませんが、何色かある帽子の色は年齢によって違います。

ここでは様々な年齢の子供たちが自分の世界に浸りながら、あるいはそれぞれ関わり合いながら砂場での遊びに没頭しています。

【三歳児用椅子】

新しい三歳児用の椅子が到着。作りがしっかりとしていて、少し重量がありますがそのためとても安定しています。思っていた通りの椅子です。新しい椅子に子供たちも大満足。最初は椅子の数に余裕がありましたが、現在はすべての椅子を使用しています。この椅子に座り、絵を描き、制作物をつくり、給食を食べています。

３．その成果と評価

【パーゴラ】

本園の園生活では子供たちはそれぞれの興味関心に沿って自由に過ごしています。私どもはそのための環境を用意することを心がけておりますが、日差しの強い時期に砂場でじっくりと遊びこむためには日除けが欠かせません。これまではタープを組み合わせたりして日陰を作る努力をしてきましたが、大きい日陰を確保するのはなかなか大変でした。今回設置したパーゴラは簡易的なものではありますが、十分な広さがあり、一度に大勢の子供たちが遊ぶことができます。

大勢で遊べるということはとても魅力的なことです。仲間と一緒に遊ぶことで遊びの幅がどんどん広がり様々な方向へと発展していく様子があちらこちらで見られました。また、同い年だけでなく０歳児から５歳児まで異年齢の子供たちが一緒にいることでお互いに刺激を受け、たくさんのことを学び、大きな成長へとつながります。

子供たちが「遊びたい」と思ったときにその遊びができるということは本園では、とても大切なことと考えておりますし、砂場遊びについてその可能性が大幅に増えたことはとても有難いことです。

【三歳児用椅子】

今回購入させていただいた椅子は今までの二歳児用と比べ３センチほど座面が高くなっています。座面が高くなったことにより座ったり立ったりの動作がしやすくなったのでしょうか、動きがスムーズに感じました。なにより、座っているときに少し気持にも落ち着きが出てきているようで、より集中して、じっくりとお絵かきや制作に取り組んでいる子供たちが増えているように思われます。自然に腰で上半身をしっかりと支える姿勢が取れることで、腕や手指が自由に動かせるようになったことがその要因の一つなのではないかと思われます。また、それにより食事の時に食具をしっかりと持つことができ、使い方が上手になったことを感じます。

☆椅子の高さの比較をしてみました。

左は三歳児用の椅子
を使用している様子

右は二歳児用の椅子を
使用している様子

三歳児クラスで三歳児用の椅子を使用するということはごく当たり前のことですし、また、比較対象となる子を設定して長期にわたる実験をするわけにもいきません。毎日子供たちと一緒にいる保育者が見て感じたことといった内容の報告でありますが、体格にあった椅子を使用することの大切さを改めて実感しました。

４．今後の課題と展望

【パーゴラ】

現代の日本の夏は非常に気温が高く、本園のある関東の北寄りの地域でも、梅雨が明けるとたとえ日陰であっても外へ出ることを控えなくてはならない日々が続きます。その間は室内で過ごすことになりますが、感触を楽しむもの、変化を楽しむもの、創作意欲をかき立てられるものなどなど、それに代わる遊びを続けていけるよう、色々と工夫しながら保育を行っております。

一方、パーゴラにつきましては移設が可能なため、プールの上に設置し水遊び用の日陰をつくったり、行事の時に休憩場所として利用したりと活躍しています。

【三歳児用椅子】

子供たちの体格は一人ひとり少しずつ違います。また、新年度が始まったばかりの４月と年度末の３月では体格は変わっていますし、生まれた月による違いもあります。その時のその子にあった椅子を使うことができるならば、それが理想なのかなと思います。片付けのし易さや収納場所の都合、予算の都合、色々と克服すべきことはありますが、これから考えていく必要があるかもしれません。

このほかにも課題はたくさんあります。少しずつでも前へと進みながら、子供たちと一緒に成長していきたいと考えております。

以上